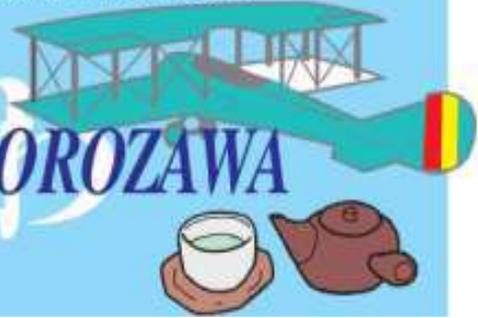




THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKOROZAWA

2024年3月 (2023年度) 通巻 411号

今月のテーマ : CS・Green P. ワイズメネット



会長	澁谷弘祐	クラブ会長主題 「親睦を通して、互いを知ろう」
副会長	小関京子	国際会長 ウルリック・ラウリドセン ‘Let Your Light Shine’ 「輝かそう、あなたの光を」
書記	宮地輝子	アジア太平洋地域会長 利根川恵子(川越クラブ) [変革のための光となるう]
会計	金本伸二郎	東日本区理事主題 山田公平(宇都宮クラブ)「未来のために今、学びと気づきを！ 未来のために、自信と喜びを感じる機会を！」
		関東東部部長主題 長尾昌男(千葉ウエストクラブ)「親睦を糧にクラブライフの充実」

入会して

小林 恵子

今月の聖句

「今こそ、恵みの時、今こそ、救いの日です。」

コリントの信徒への手紙二 6章2節

長いことワイズメンズクラブに入会するように、姉から勧誘されておりました。姉は大澤和子と申します。ワイズ【以下この様に省略させていただきます】では、すでに活動いたしておりました。

【ワイズ】はクリスチャンの方たちが活動する団体と思っておりましたので、かなり及び腰ではありました。私は中学3年生の時、ミッション系の高校を受験する目標があり、教会に通い始めました。教会学校の教師をやらせていただいたり、なぜか牧師養成の学校に通わせていただいたり、いろいろなことを学ばせて頂き高校生の時に洗礼を受けました。当時私が通っておりました教会では伝道のあり方について意見の違いから牧師派と長老派に分かれて、何かともめ事が多くなり、自然と足が遠のき、今に至っております。洗礼は受けておりますが、キリスト教信者とはいえない生活をしております。ですので、キリスト教系のボランティアはハードルが高いと感じていましたし、ボランティアはがらじゃないと思っておりました。ですが、姉から誘われてグリーンクラブの神田川の会に参加させて頂いた時、生き生きと活動されている様子がとても楽しそうで、好感がもてました。会員の方が、何だって楽しければいいのよ、難しく考える事なんて無いのよ、という言葉が、心に響き、楽しく活動できて、世の中のお役にたてるなら、いいんじゃない？そんな単純な理由で夫と一緒に入会させていただきました。夫は仕事を一生懸命してきた人生ですが、活動を通していろいろな方と利害抜きでお付き合いさせて

3月 例会プログラム

お花見例会

日時：令和6年3月16日(土)
 11:00 石神井公園(中央口)集合
 12:00 ランチ
 例会 岡部八千代さんの入会式
 卓話 岡部八千代さん
 13:30 解散

持ち物：弁当・飲み物

※オプション

徒歩30分で牧野富太郎植物園

3月例会報告 黒田和代さん

4月号ブリテン一面 小林茂和さん

いただけたら、これから先もきっと楽しい時間になると思います。こんな自分勝手な感じで入会させていただき、まだよくわからないことだらけですが、どうぞ宜しくお願いいたします。

2月例会報告

宮地輝子

2月24日(土)3クラブ合同例会がウエスタ川越の研修室4で開催されました。所沢クラブからは小谷総主事さん・澁谷会長・澁谷実季さん・すみれくん・小関さん・大澤さん・小林茂和さん・小林恵子さん・坂本さん・宮地の10人が参加しました。



2月はピンクシャツデー月間ということで、ピンクを着て行きました。川越の山本会長から、2007年にカナダでピンクを着て登校した生徒がいじめにあったのを見て、同級生がピンクのシャツを50枚買って来て、友人に着てもらい、そのことでいじめがなくなったというのをきっかけに、2月の最終水曜日をピンクシャツデーとしたという、ピンクシャツデーの由来が話されました。

卓話はアストロスケール社長の加藤英毅氏がアストロスケールのビジネス⇒『宇宙の大掃除 宇宙でJAFになるぞ!!』をお話くださいました。加藤氏は川越クラブの吉野さんとプリンストンで出会い、以来30年来のご友人とのことです。加藤氏は宇宙産業、衛星事業の分野で、世界で活動されてきた方です。

宇宙ゴミ(デブリ)除去サービスのアストロスケールは2月18日に実証衛星の打ち上げに成功しました。つい数日前のことで、マスコミにも取り上げられました。デブリとは宇宙空間にある宇宙ゴミのことで、今、宇宙には10cm以上のゴミが36,000個以上あり、このままでは宇宙環境が持続不可能になってしまうということです。ゴミに当たるのを避けなければならないのに人工衛星は2022年には7200、2030年には46,000超となり、ニアミスの回数は4,5年で5倍以上、人が乗る宇宙船は2022年には10人、2030年には数百人が行くようになると予想されるそうです。このままでは宇宙が使えなくなって



しまうので、このデブリを除去する必要があるということです。その宇宙のロードサービスを事業とする世界で初めての企業がアストロスケールだそうです。デブリの除去だけではなく、衛星運用終了時のデブリ化防止のための除去サービス、故障機などの物体の観測、点検サービス、燃料補給などのサービスを行うのだそうです。

宇宙とは遠い夢の世界のように感じていましたが、そこにゴミがあって放置したら、ゴミが増えて宇宙が使えなくなるとは驚きです。私たちが便利に見ている天気予報やナビなども、みな気象衛星などの人工衛星のお蔭なのだと思うと、宇宙も、身近に感じられてきました。それが使えなくなるとは困ります。そのデブリを取り除いたり、宇宙のロードサービスをする世界で初めての企業が、この日本にあることは、ちょっと誇らしく、そして、これまでは、全く知らなかった宇宙のゴミの扱いが大事なことを卓話で教えていただけて、得をした気持ちになりました。

ワイズ報告

澁谷弘祐

2月24日(土)に川越クラブとの合同例会を持ちました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

次期国際会長にアブドル・カデール・シャナヴァスカール氏(南西インド区)、また、次期アジア太平洋地域会長は田上正氏(熊本むさし)に決まりました。

6月1日(土)に開催されます第27回東日本区大会の申込が開始されました。ご参加ください。申込期限は5月15日(水)です。

2月例会(埼玉3クラブ合同例会)

所沢クラブ会員 9名 コメント 1名
計 10名

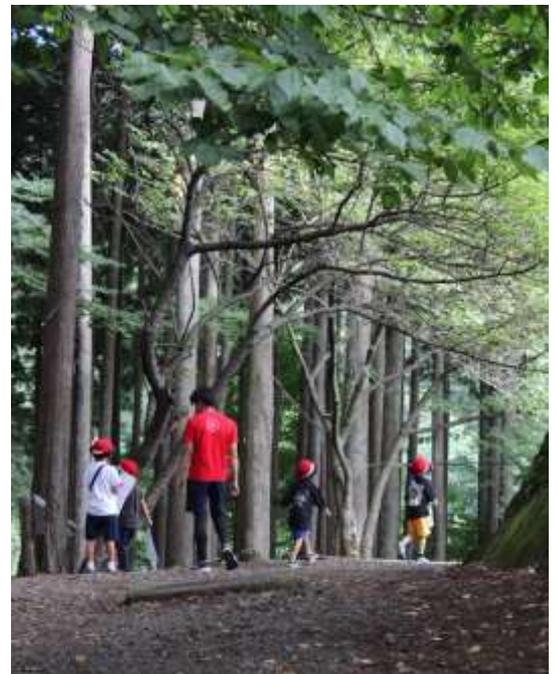
野外教育事業は、『グループ活動』『自然体験』『環境教育』の3本柱を基にプログラムを計画・実施しています。夏・冬には、シーズンキャンプを実施いたしました。

YMCAのシーズンキャンプでは、非日常の体験・異年齢との関わり、そして3本柱の1つである自然体験を大切にしています。今年度の夏、年少児～小学2年生を対象にした『はじめてのキャンプ』を1泊2日で実施しました。初めて親元を離れ、宿泊キャンプに参加をしたメン



バーが多くいたため、キャンプ当日の朝は、子ども達の表情はとても緊張していました。ですが2日間という限られた時間で、自然の中で様々なプログラムを行い、帰る頃には子どもたちからは笑顔が溢れ、「次のキャンプはいつあるの？」や「またキャンプ行きたい！」と、そんな声がたくさん聞こえてきました。子ども達からそんな声が聞こえてくるのは、24時間生活をともにする『リーダー』がいるからだと思います。リーダーは、先生や指導者ではなく、子ども達にとってはお兄さん・お姉さんのような存在です。日々リーダーも子ども達と楽しく活動をしながらも、子ども達との関わり方やグループ活動の進め方を模索し、お互いに相談をしたり、OBOGに助言

をもらった
り、そんな
姿を見ると
「YMCA っ
ていいな」
「YMCA に
しかない良
さだな」と
日々感じて
います。子
ども達と共
に成長をし
ていくリー
ダーがいて、私自身
も活力をもらっています。



最後に、「子どもたちの遊ぶ場所が減っている」「外遊びができる公園や場所がない」など、子ども達の成長に影響を与えている現代で、子ども達が自然の中で思い切り活動ができるプログラムを今後も展開し、1人でも多くの子ども達がプログラムに参加できるようにしていきたいと思います。

プログラムを実施するにあたり皆様からのご支援・ご協力があること、そして活動やキャンプに送り出してくれる保護者の方からの想いや願いがあることを忘れず、引き続きプログラムを実施してまいります。

今後の行事予定

澁谷弘祐

3月1日(金) ブリテン発行

3月9日(土)～10日(日)

次期クラブ会長・部役員研修会、
於：東山荘

3月16日(土) 所沢クラブお花見例会 (大泉グループ担当)

岡部八千代さん入会式

於：石神井公園

石神井公園中央口 11時集合

4月6日(土) 関東東部 EMC を考える会

於：東陽町センター

おいしいお茶を

煎茶	100g	1,000円
粉茶	200g	1,000円
ほうじ茶	90g	500円

